┌┬──────────────────────────────────2016 年 11 月 7 日
├┼┐ 一般社団法人
│ └┼┐ 日本美容歯科医療協会
│ └┼┐ メルマガ
└──┴┴──────────────────────────────── http://jcd.jp/

比較的穏やかな週末でしたが、先生方はいかがお過ごしでしたでしょうか。世間では、金曜を休むと 4 連休の場合もあり、結構行楽地はにぎわっていたようです。

さて今回は、論文化された顎顔面マッサージの効果に関する論文をご紹介いたします。

jcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcd

【日本口腔顔面痛学会雑誌より】
二次性 Burning Mouth Syndrome（口腔内灼熱性疼痛症候群）に筋膜トリガーポイントマッサージ療法を適応した一例
（日本歯科大学）

Burning Mouth Syndrome：口腔内灼熱性疼痛症候群の病因は不明であり特発性口腔顔面痛に分類されている．治療法は緩和療法が主体である．

症例の概要：患者は 33 歳女性．

主訴：約 1 年前より顎部，頬部，側頭部，頚部，肩部の自発痛，約 6 ヶ月前より舌の辺縁部の自発痛およびしびれ感，目の奥の痛み，味覚障害を自覚．整形外科，脳神経外科，耳鼻咽喉科，眼科を受診するも異常所見は認められず，歯科にて加療するも改善なく，当院顎関節症診療センターを受診した．

初診時の味覚感度は塩味，酸味，苦味について舌全域で 4～6 を示し，味覚の低下が認められた．また，舌に強い圧痛が認められた．CMI 領域は II であった．筋膜性疼痛症候群の診断のもと，頚部・顎部・側頭部・顔面部・舌を含む口腔部の筋に対して阻血（虚血）性圧迫，および圧搾マッサージを施術し，運動療法と行動治療を併用した．

治療開始後約 4 ヶ月で舌の症状，味覚障害が改善，約 1 年でその他の症状も全て消退した。

考察：舌筋の筋膜性疼痛，および胸鎖乳突筋，内側翼突筋，顎舌骨筋をトリガーポイントとする

関連痛が舌に生じている場合は長期にわたる灼熱性疼痛やしびれ感が舌に生じる例があり,局所に原因がある口腔内灼熱性疼痛症候群であるにもかかわらず,一次性と診断することになりかねない.

結論：阻血（虚血）性圧迫と圧搾マッサージは舌筋における筋膜性疼痛の非侵襲的治療法として有用であった．また，二次性口腔内灼熱性疼痛症候群の要因としては認識されていないものの,筋膜性疼痛症候群による舌痛症状を局所的要因のひとつとして考慮するべきと思われる.
http://ci.nii.ac.jp/naid/130004953524

＊一次性というのは、原疾患が不明なもので、医科では本態性高血圧がよく知られています。二次性というのは、原疾患の予想がつくもので、たとえばここでは筋膜性疼痛を原疾患として、二次的に口腔内灼熱性疼痛症候群が出たと診断しています。

　咀嚼筋・唾液腺マッサージ実践セミナーは、下記（2つ下）の情報をご覧くださいませ。11月と12月の東京会場は満席です。来年以降をご利用くださいませ。

jcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcd

Ｑ．ボトックスは「菌」ですか？それとも「毒」ですか？
Ａ．菌でも毒でもありません。筋の過緊張を緩和させる「医薬品」です。

年度内のセミナー日程ができました。
ー口腔機能の維持改善と増収に直結するセカンドオピニオンー　セミナー日程のお知らせ。

【歯科ボツリヌス療法・口腔ヒアルロン酸治療（美容セミナーではありません)】

咬合&ヘルスプロモーションの専門家として知っておきたい
＊咀嚼・嚥下・口腔機能の維持改善のための口腔ヒアルロン酸治療
＊咬合力適正化コントロール（顎運動制御）のための歯科ボツリヌス治療
という位置づけで解説・実技講習を致しております。
http://jcd.jp/from%20oraltougou/BHpanf.pdf

jcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcd

＊チェアサイドから訪問診療まで使えるテクニック
＊最短3分、グローブしたままでも施術OK

【咀嚼筋・唾液線・顎関節マッサージ実践講座】　セミナー日程のお知らせ。

☆11 月・12 月（東京）は満席です。

・スプリントの印象採得が楽になった。
・咬合採得時の顎位の安定が取りやすくなった。
・顎関節症や口腔乾燥症の患者さんへの対応の選択肢が増えた。
・リコールのモチベーションアップにつながった。

　などなど、実践に役立ったご感想が寄せられている講座です。
１テーブル２チェア限定の寺子屋形式のマンツーマン指導により、 翌日から実践できるように習得していただくことができます。

　また、セミナー特典として、解説 DVD もついていますので、いつでも解剖学的構造とリンクした術式を復習して確認 することが可能です(^_^.)

http://jcd.jp/from%20oraltougou/estheseminer.html

jcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcd

【ホワイトニング新患倍増システムのご案内】
　ホワイトニングの新患の伸びに悩んでおられる先生方が非常に多いです。
・最新のやり方を導入したのにやってくれない。
・キャンペーン価格を設定してもその場限りで続かない。

　実は、ホワイトニングの位置づけに大きな問題があります。まず、価格。どんなに最新の方法や薬剤を使っても、患者数が伸びない最大の理由は「高い」からです。

　では、価格を下げるにはどうするのか？その方法は１つしかありません。ホームであれオフィスであれ、１回のコストをワンコイン 500 円以下に抑えない限り、価格破壊は無理です。

　で、価格破壊したら儲けが少なくなるのでは？？？と考えてしまうところから、まず思考の OS を再インストールする必要があります。ここから先は、ホワイトニングをメンテナンスのシステムに組み込むのです。

弊協会の「唾液腺・咀嚼筋マッサージ」セミナーでは、特典講座として、このカラクリをお教えしています。また、訪問セミナーによるホワイトニングシステムの再インストールにより、まずは月に1人だったホワイトニング新患を、週に1人を中間目標にし、最終的には、週に2～3人の新患を達成させます。結果、増収につなげます。

ただしこの方法には弱点があります。それは「メンテナンスも含め、自由診療をメインに行っているクリニックでは導入しにくい」ということです。

逆に、「保険患者8割以上」のクリニックの方が、導入しやすいということです。ぜひ受講してみてください。

jcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcd

【新盤DVD発売のお知らせ】←全症例実演デモ映像付

・統合歯科治療実践マニュアル第1巻～第4巻
⇒咀嚼・口腔機能の維持改善のための口腔ヒアルロン酸治療
⇒咬合力適正化・顎運動制御のための歯科ボツリヌス治療
⇒栄養学・生化学いらずの歯科栄養サポート外来導入法
⇒統合歯科治療を行う際に知っておきたい制度面の問題
（これには、特典内容として、クレーム対策10か条とアンガーマネジメントが入っております）

＊詳しくは、弊協会HPをご覧くださいませ。また、各巻のプロモーション映像をご覧いただくことができます。併せましてHPをご参照くださいませ。

【咀嚼筋・唾液腺マッサージマニュアル】もDVD化が完成しました。
セミナー内容をそのままDVDにて学ぶことができます。
いずれもご購入は上記HPにて承っております。

jcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcdjcd

メルマガのバックナンバーは下記のサイトからダウンロードできます。
http://jcd.jp/from%20oraltougou/merumagaback.html

┌──┬──┬──
│編│集│舌痛症に代表される口腔内軟組織の疼痛に関しては、悩まされるところです。

├──┼──┤口腔乾燥の疑いが濃厚な場合は、オフィスとホーム唾液腺マッサージが有効です。
│後│記│口腔内灼熱性疼痛症候群は、あまり知られていない病名なので今回ご紹介しました。
└──┴──┘それでは次回のメルマガもどうぞお楽しみに。

○●○●■□■□101-0052
●○●○■□■□東京都千代田区神田小川町 3_10S ビル駿河台 3F
○●○●■□■□一般社団法人日本美容歯科医療協会
●○●○■□■□03-5843-3615